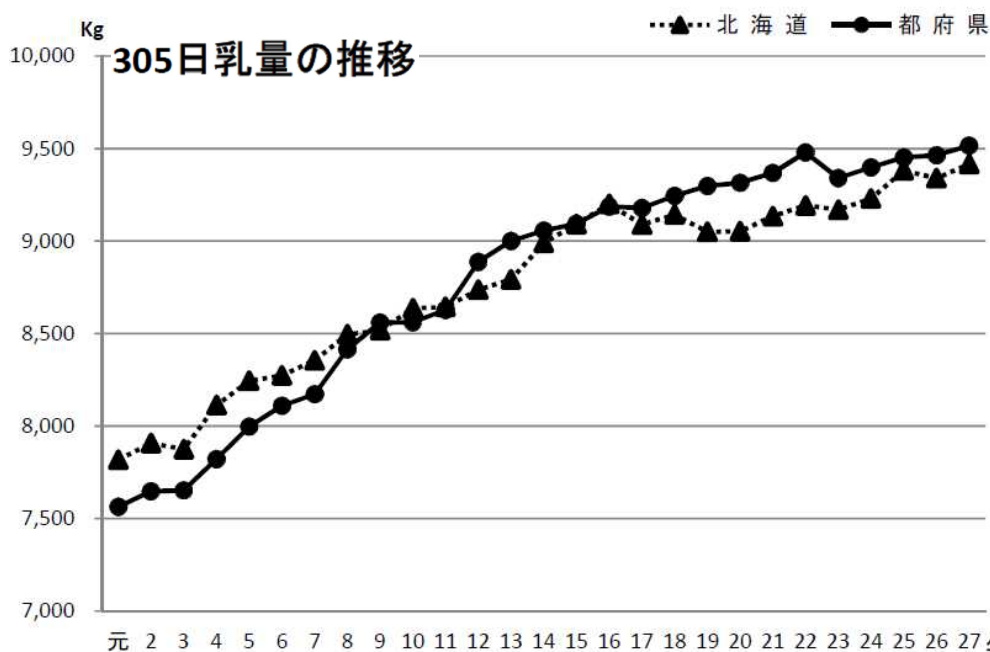


牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報5月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスンその35 繁殖改善で夏季乳量確保
繁殖を改善しなければ、夏季の乳量減少も免れません。
- 2 酪農ジャーナル5月号 酪農学園大学エクステンションセンター
牛群検定だより(第26回)牛群検定の推進に長年貢献した優秀な検定員を表彰
牛群検定にとって検定員はなくてはならない存在です。優秀検定員を紹介しながら、牛群検定における検定員の現況を解説してます。
- 3 デーリイマン臨時増刊 長命連産ガイド デーリイマン社
検定成績を乳量・乳質・繁殖向上に生かす きくち酪農コンサルティング 菊地実 代表
検定成績表を活用するための基本について、実例を紹介しながら解説されています
- 4 L I A J ニュース5月号 (一社)家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その42)
検定日乳量階層の泌乳曲線の利用
検定成績表の1枚目の左下に掲載されている一番目立つ「泌乳曲線」の図の見方や活用方法を解説しています。

牛群検定始まって以来の305日乳量の最高記録を更新しました！



平成27年度の乳用牛群能力検定成績速報によりますと、北海道、都府県ともに牛群検定始まって以来の305日乳量の最高記録を更新しました。

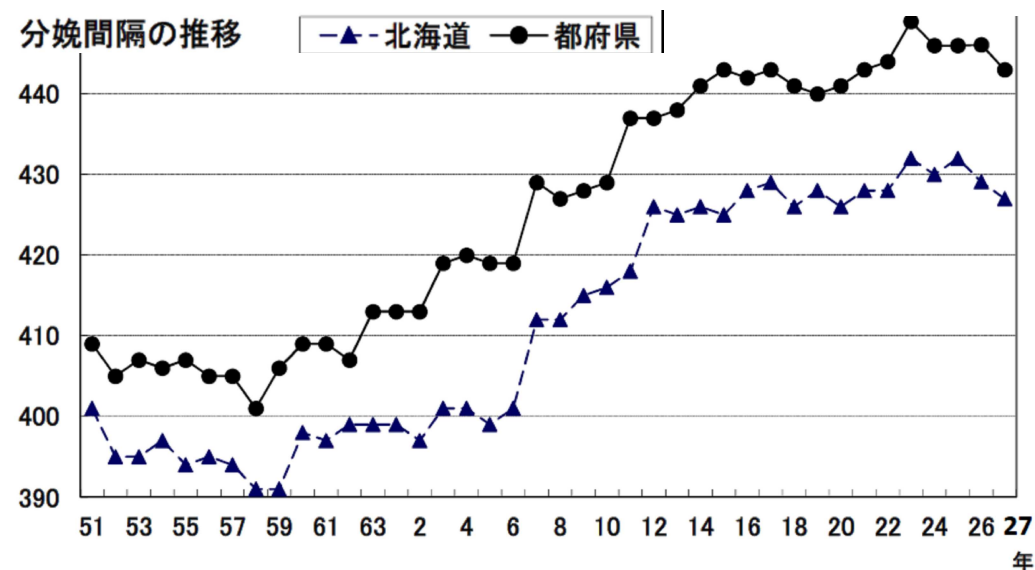
305日乳量

北海道	9,417 kg (昨年+77)
都府県	9,516 kg (昨年+51)
全国	9,450 kg (昨年+68)

しかも、繁殖成績として分娩間隔の短縮もあわせて、達成しています。

分娩間隔

北海道	427日 (昨年-2日)
都府県	443日 (昨年-3日)
全国	433日 (昨年-2日)



後代検定を着実に進めましょう！

平成27年度後代検定事業の候補種雄牛の調整交配(後期)が行われています。調整交配は、乳用種雄牛の遺伝評価成績の元となる大事な交配です。雌牛が生まれた場合は、育成の段階で牛群検定に加入するようにお願いします。今回の調整交配は、順調であれば平成31年ごろに選抜される乳用種雄牛の遺伝評価成績の元となります。

なお、候補種雄牛はすべて、ゲノミック評価により、予備選抜された最新世代の種雄牛です。

調整交配期間 後期 70頭 平成28年 4月～28年7月

候補種雄牛は各都道府県ごとにランダムに割り当てられています。各々の地域で活用できる候補種雄牛や血統情報をお知りになりたいときは、当団ホームページをご利用ください。

また、みなさんが繋養する雌牛との交配に関しての近交をチェックしたい場合は、「繁殖台帳Webシステム」の「調整交配情報」をご利用頂ければ、一頭一頭の近交をそれぞれチェックすることが出来ます。



本年度もやります！検定試行(お試し検定)をどうぞご利用下さい！

家畜改良事業団では「乳用牛改良対策事業」により、牛群検定を半年間無料体験できるお試し検定を本年度も実施します。前述のように高乳量と高い繁殖成績が求められる現代酪農において、牛群検定は必須アイテムです。是非これを機会に、お知り合いの検定未加入の酪農家に一声かけてみてください。詳細は、当団HPをご覧ください。

新規加入農家には、牛群検定成績の利活用(入門編)を解説したビデオをDVDとテキストで配布しています。「利活用がよくわからない...」という方にも安心です。また、有料になりますが、牛群検定活用の解説書も以下の通り2冊発行されています。

「今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営！」

デーリイジャパン社 2880円(税込み)で出版されています。

デーリイジャパンオンラインショッピングやアマゾン、一般書店で購入いただけます。

「牛群検定クイックチェック～早わかり～」

全国酪農協会 2400円(税込み)で出版されています。

全国酪農協会HP、田舎の本屋さん(農文協HP)で購入いただけます。